

[ドイツ語]

基礎ドイツ語

授業科目概説

初級レベルのドイツ語を学びます。ドイツ語を聞く・読む・話す・書くための基礎的能力を身につけます。また、この能力を体系づけるために、基礎的なドイツ語文法を学びます。授業では、簡単なドイツ語を聞き取ったり、ドイツ語の短文を読んで理解したり、身近なことを話したり、短い文章をドイツ語で書いたりしながら、このさまざまな活動を文法として体系化していきます。あわせて、ドイツ語圏の文化にも触れ、言語と文化の関係についても学び、ひろく人類の言語と文化の多様性を理解する力を身につけます。

履修方法

第1 Semesterに「基礎ドイツ語Ⅰ」、第2 Semesterに「基礎ドイツ語Ⅱ」を履修します。週2回の授業で2単位が認定されます。年間を通じて連続した内容です。

原則として、入学時の「初修語履修希望書」にもとづいて配属されたクラスで履修します。学部を指定したクラス群とは別のクラスでの履修や、クラスの異なる組み合わせでの履修は認めません。また、「基礎ドイツ語Ⅰ」と「基礎ドイツ語Ⅱ」の間でのクラス変更は認めません。「基礎ドイツ語Ⅰ」の単位を修得した者だけが、「基礎ドイツ語Ⅱ」を履修できます。

高等学校等でのドイツ語の既修者については、既修者用クラスでの受講を認める場合があります。希望者は、まず指定された「基礎ドイツ語」の第1回目授業に出席し、そこで教員に申し出てください。

ドイツ語を日常的に使用している地域で生活した経験があり、基礎知識を十分有しているものには、基礎ドイツ語の履修を認めない場合があります。

展開ドイツ語

授業科目概説

中級レベルのドイツ語を学びます。ドイツ語を聞く・読む・話す・書くための応用的能力を身につけます。また、この能力を定着させるために、文法や語法を学びます。授業では、まとまった内容のドイツ語音声を聞いたり、論述文を読んだり、対話する環境のなかで話したり、自分の意見を書いたりしながら、このさまざまな活動を文法や語法として理論化し、集約していきます。あわせて、ドイツ語圏の文化・歴史についても触れ、言語と文化・歴史の関係についても学び、ひろく人類の言語と文化・歴史の力学を理解する力を身につけます。

履修方法

第3 Semesterに「展開ドイツ語Ⅰ」、第4 Semesterに「展開ドイツ語Ⅱ」を履修します。週1回の授業で2単位が認定されます。

開講クラス群から各自が選択したクラスで履修します。なお、文系学部の学生を対象にしたクラスだけでなく、全学部の学生を対象にしたクラスも開設しています。

「基礎ドイツ語Ⅱ」（「基礎ドイツ語Ⅱ-1」「基礎ドイツ語Ⅱ-2」）の単位を修得した者だけが、「展開ドイツ語Ⅰ」「展開ドイツ語Ⅱ」を履修できます。「展開ドイツ語Ⅰ」と「展開ドイツ語Ⅱ」の履修順序は問いません。

第5 Semesterの「展開ドイツ語Ⅲ」、第6 Semesterの「展開ドイツ語Ⅳ」を履修できるのは、「展開ドイツ語Ⅰ」「展開ドイツ語Ⅱ」の計4単位を修得した者です。「展開ドイツ語Ⅲ」と「展開ドイツ語Ⅳ」の履修順序は問いません。なお、令和6年度において、「展開ドイツ語Ⅲ・Ⅳ」は令和4年度入学者が履修する場合は「共通科目類外国語群初修語（ドイツ語）」、令和3年度以前入学者が履修する場合は「展開科目類総合科学群カレントトピックス科目」の扱いになりますので、ご注意ください。

「展開ドイツ語」は、複数履修制度の対象です。同一 Semesterに複数の「展開ドイツ語」を履修したり、すでに修得した科目を次年度以降に再び履修したりすることができます。

履修カードの提出（対面授業の場合のみ）及び履修登録について

<基礎ドイツ語>

第1回目の授業時が対面授業の場合は、配属されたクラスで担当教員から授業について説明を受け、履修カードを提出してください。履修カードは教室でのみ受け付けます。対面・オンライン授業とも、履修登録は早めに行ってください。

<展開ドイツ語>

履修を希望するクラスの第1回目の授業もしくは指定された日までに、履修登録をしてください。クラスの履修者定員のため希望のクラスで履修できない場合があります。その通知を受けた場合は、担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。履修登録期間中は、登録を取り消し、変更することが可能です。履修カードの提出は、原則として不要です。

特別な配慮が必要な場合

視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は担当教員に相談してください。

外部検定試験による単位認定

経済学部および理系学部(理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部・農学部)には、ドイツ語の外部検定試験の成績に基づいて単位を認定する制度があります。詳細は本手引きのV. 授業関連事項の「1. 外国語技能検定試験等による単位認定制度」の項を参照してください。

外部検定試験による加点

ドイツ語技能検定試験(独検)4級以上に合格し、加点を申請すると、基礎ドイツ語Ⅰおよび基礎ドイツ語Ⅱの成績判定に10%の加点をします。

ドイツ語技能検定試験(独検)3級以上に合格し、加点を申請すると、展開ドイツ語Ⅰおよび展開ドイツ語Ⅱの成績判定に10%の加点をします。

合格した時点が当該科目を履修する以前であっても、その科目の成績判定に加点されます。合格した時点が成績判定以降の場合、さかのぼって成績判定に加点されません。

加点を申請する場合、合格通知書を添えて、授業最終日までに担当教員に申請してください。成績判定後に加点を申請しても、さかのぼって加点されません。

成績評価方法

ドイツ語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」のとおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したものを「D」とします。

GP (AA=4、A=3、B=2、C=1、D=0) のクラス平均が 2.5 ± 0.3 となることを目安にして評価します。

再履修について

平成29年度から令和3年度までの入学者が再履修する場合は、「基礎ドイツ語Ⅰ-1」及び「基礎ドイツ語Ⅰ-2」として「基礎ドイツ語Ⅰ」、「基礎ドイツ語Ⅱ-1」及び「基礎ドイツ語Ⅱ-2」として「基礎ドイツ語Ⅱ」、「展開ドイツ語Ⅰ-1」及び「展開ドイツ語Ⅰ-2」として「展開ドイツ語Ⅰ」、「展開ドイツ語Ⅱ-1」及び「展開ドイツ語Ⅱ-2」として「展開ドイツ語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

平成28年度以前入学者が再履修する場合は、(旧)「基礎ドイツ語Ⅰ」として同名の「基礎ドイツ語Ⅰ」、(旧)「基礎ドイツ語Ⅱ」として同名の「基礎ドイツ語Ⅱ」、(旧)「展開ドイツ語Ⅰ」として同名の「展開ドイツ語Ⅰ」、(旧)「展開ドイツ語Ⅱ」として同名の「展開ドイツ語Ⅱ」を履修してください。単位についてはそれぞれ読み替えを行うことになります。

再履修の場合は、「初修語履修希望書」にもとづく配属クラス指定はありません。

「展開ドイツ語Ⅰ」および「展開ドイツ語Ⅱ」は、「展開ドイツ語Ⅰ」および「展開ドイツ語Ⅱ」のどちらでも再履修できます(外国語振替)。

「基礎ドイツ語」と「展開ドイツ語」を同時に履修することはできません。